



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月27日

上場会社名 株式会社 エスティック

上場取引所 東

コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 平成26年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年3月21日～平成25年12月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,050	8.1	375	1.9	405	7.1	245	15.3
25年3月期第3四半期	1,896	4.4	368	3.5	379	13.4	213	9.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	180.80	—
25年3月期第3四半期	156.75	—

(注)当社は、平成25年9月21日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,560	3,195	89.7
25年3月期	3,426	3,019	88.1

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 3,195百万円 25年3月期 3,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	50.00	50.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年9月21日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成26年3月期(予想)の年間配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。また、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、平成25年3月期の年間配当金を記載しております。当該株式分割の影響を加味し、遡及修正を行う前の配当金は5,000円00銭であります。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年3月21日～平成26年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,850	14.1	510	12.1	514	△0.7	293	0.1	215.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年9月21日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法を変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	1,471,000 株	25年3月期	1,471,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	111,300 株	25年3月期	111,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	1,359,700 株	25年3月期3Q	1,359,700 株

(注)当社は、平成25年9月21日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による景気浮揚策や円安の効果もあり、総じて緩やかな景気回復の傾向が続いております。しかし、消費税の増税に伴う駆け込み需要やその反動など先行きの景気動向については計りづらい環境であり、今後の景気回復スピードについては各社慎重な見方が多く、加えて今年はベースアップなど賃金の上昇も見込まれ、企業コスト増大の懸念もあります。

世界経済におきましては、米国の財政問題も収束し、米国に加え中南米、アジア地域において特に堅調な経済環境を示しており、世界的に景気は上向き傾向が継続しております。

このような状況のなか、当社主力販売先である自動車産業界における設備投資の状況につきましては、国内市場では円安効果や需要拡大等による設備投資の拡大について、第3四半期後半より徐々にその兆しが見え始めておりますが、いまだ各社の設備投資姿勢は慎重であり、今後の展開については、急速な需要拡大は当面考えにくい状況にあります。

また、海外市場では堅調な経済環境を背景に第2四半期に引き続き中国、タイ、米国、韓国、メキシコ市場が特に堅調に推移しております。

その結果、当第3四半期累計期間は、売上高2,050百万円(前年同四半期比8.1%増)、営業利益375百万円(前年同四半期比1.9%増)、経常利益405百万円(前年同四半期比7.1%増)、四半期純利益245百万円(前年同四半期比15.3%増)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、3,560百万円と前事業年度末比133百万円の増加となりました。

これは流動資産については、仕掛品などの減少があったものの、受取手形及び売掛金の増加の影響により2,720百万円と前事業年度末比107百万円の増加となり、固定資産については、840百万円と前事業年度末比25百万円の増加となったことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、365百万円と前事業年度末比42百万円の減少となりました。

これは主に買掛金が42百万円増加した一方、未払法人税等が66百万円減少したことなどによるものです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、3,195百万円と前事業年度末比175百万円の増加となりました。

これは利益剰余金が177百万円増加したことなどによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績につきましては、概ね年初計画に近い状況で推移しており、現在の状況から判断して、今後も当初予想の範囲内で推移するものと見込んでおりますので、平成25年4月26日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	956,618	1,013,989
受取手形及び売掛金	1,004,717	1,118,800
製品	66,695	75,929
原材料	375,479	352,606
仕掛品	157,940	107,453
その他	71,740	55,970
貸倒引当金	△21,117	△4,688
流動資産合計	2,612,074	2,720,061
固定資産		
有形固定資産		
土地	413,240	413,240
その他(純額)	96,235	105,070
有形固定資産合計	509,475	518,311
無形固定資産		
	5,526	4,461
投資その他の資産		
その他	301,470	319,315
貸倒引当金	△1,548	△1,548
投資その他の資産合計	299,921	317,766
固定資産合計	814,923	840,539
資産合計	3,426,998	3,560,601
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,064	117,840
未払法人税等	121,000	54,266
賞与引当金	24,526	7,564
役員賞与引当金	—	10,000
その他	90,321	71,825
流動負債合計	310,911	261,495
固定負債		
退職給付引当金	96,335	103,546
固定負債合計	96,335	103,546
負債合計	407,246	365,041

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	2,038,320	2,216,163
自己株式	△217,684	△217,684
株主資本合計	3,017,385	3,195,228
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,365	330
評価・換算差額等合計	2,365	330
純資産合計	3,019,751	3,195,559
負債純資産合計	3,426,998	3,560,601

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年12月20日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年12月20日)
売上高	1,896,762	2,050,327
売上原価	1,169,127	1,291,305
売上総利益	727,634	759,021
販売費及び一般管理費	359,342	383,582
営業利益	368,292	375,439
営業外収益		
受取利息	387	563
受取配当金	785	762
為替差益	6,511	15,031
デリバティブ評価益	2,220	12,090
その他	1,004	2,163
営業外収益合計	10,908	30,611
営業外費用		
雑損失	—	101
営業外費用合計	—	101
経常利益	379,200	405,949
税引前四半期純利益	379,200	405,949
法人税、住民税及び事業税	149,544	147,527
法人税等調整額	16,526	12,594
法人税等合計	166,071	160,121
四半期純利益	213,129	245,828

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。